

2019 年度

事業計画書

自 2019 年 4 月 1 日

至 2020 年 3 月 31 日

一般社団法人 日本建築あと施工アンカー協会

2020年は東京オリンピック、パラリンピック、2025年は大阪万博や整備新幹線、リニアモーターカーなどの大型プロジェクトが計画されています。さらに、維持補修分野の拡大が予想され、あと施工アンカーの市場は拡大すると予想されます。

当協会は、建設分野（建築、土木、設備等）におけるあと施工アンカーの設計及び施工技術の向上を図り、あと施工アンカーの安全性を確保する為、技術者の養成、製品の認証、調査研究などの業務に取り組んでいます。本年度も引き続き「あと施工アンカーは、JCAAに聞け」と言って頂けるよう「あと施工アンカーの信頼を支えるシステムの構築と実行」に向けて取り組んでまいります。

I. 調査研究事業

1. 国立研究開発法人建築研究所との共同研究

官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）の一環として進められている復興住宅の早期整備（クイックコンストラクション）に資する技術開発にて実施される「あと施工アンカーの要求性能の検討」の共同研究に当協会として積極的に参画してまいります。

2. あと施工アンカー施工指針（案）（接着系/注入方式/カートリッジ型）の発行

昨年度、あと施工アンカー審議会承認されました「あと施工アンカー施工指針（案）（接着系/注入方式/カートリッジ型）」を早期に発行します。

3. あと施工アンカー点検・診断要領（案）— 取付物固定用 —の発行

検討を進めてきました「あと施工アンカー点検・診断要領（案）— 取付物固定用 —」の早期発行を目指します。

4. 標準試験法・同解説の改訂

製品認証及び製品性能を評価する試験法を定めた「標準試験法・同解説」の改訂を行います。

5. 工事標準仕様書の発行

施主や設計事務所などの管理者が使用する重要な仕様書である「あと施工アンカー工事標準仕様書」の発行を目指します。

6. その他アンカー類の分類と試験法の確立

その他のアンカー類の分類の見直しを進めます。また、その他アンカー類試験法については、石膏ボード試験法がすでに提案されていますが、十分に運用されていません。そこで、再度試験法を見直し新たな試験法を確立します。

7. 土木分野における当協会のプレゼンスの向上

土木懇談会を継続し、土木分野における当協会のプレゼンス向上に努めます。

8. 試験センターの設立

2013年12月の理事会において、技術センターの活用の一環として、公的試験機関を目指すという基本方針が決定されました。製品認証への対応なども勘案し、技術センター内に試験センターを設置し、ISO/JISQ17025を取得することで公的試験場を目指します。

9. 欧米におけるあと施工アンカーの設計手法と製品認証の調査報告書（案）の発行

転載許可が得られ次第、調査報告書（案）を発行します。

II. 技術者養成事業

1. 一般技術講習、資格試験、更新講習の実施

一般技術講習、資格試験、更新講習を実施します。詳細は、別紙「2019年度版資格認定案内」「2019年度資格認定試験・講習日程表」をご参照ください。

2. 第2種あと施工アンカー施工士資格試験受験資格の変更（一般技術講習受講必須化）

施工技術者の更なる知識と技能の向上を図り、あと施工アンカーに対する信頼を高めることを目指すため、基礎知識が不十分でもペーパー試験合格のみで第2種あと施工アンカー施工士資格が付与される現行の制度を見直し、第2種あと施工アンカー施工士の受験資格に一般技術講習初級の受講を必須とすることが、理事会および第三者機能的委員会の技術者審査委員会で決定されたことを受け、2020年度からの実施に向けて準備を進めます。

3. 注入式あと施工アンカーの施工資格の創設

「あと施工アンカー施工指針（案）（接着系/注入方式/カートリッジ型）」があと施工アンカー審議会で承認されたことを受け、需要が拡大している接着系注入方式のあと施工アンカーの施工資格を創設し、2020年度からの実施を目指し準備を進めます。

4. あと施工アンカー一点検士（仮称）資格の創設

近年、多くの分野で求められている点検や診断に応える為、「あと施工アンカー一点検・診断要領（案）— 取付物固定用 —」の発行の目途が立ち次第、あと施工アンカー一点検士（仮称）資格を創設すべく検討を進めます。

5. あと施工アンカー技術者資格認定事業規程等の改定

第2種あと施工アンカー施工士の受験資格の変更や新資格の創設を踏まえ、あと施工アンカー技術者資格認定事業規程等の改定を行います。

6. 「登録基幹技能者講習実施」及び「建設技能者の能力評価」機関への登録

登録基幹技能者講習の実施機関及びあと施工アンカー施工技能者の能力評価機関の登録を目指します。これらを実現することで、前者は「登録あと施工アンカー基幹技能者」の資格保有者が輩出され、後者は「建設キャリアアップシステムのレベ

ル 2 からレベル 4」のレベル認定が行えるようになり、あと施工アンカー施工者の地位向上に寄与することが期待できます。

III. 製品認証事業

1. 製品認証基準の改訂

時代の変化に対応した製品認証基準の改訂を行います。

2. 注入式あと施工アンカーの認証基準の制定

当協会の認証製品に注入式あと施工アンカーが含まれることが望まれていることを踏まえ、注入式あと施工アンカーのタイプ B の認証基準を制定します。

IV. 広報事業

1. 機関誌の発行

4 月（既刊）および 10 月に発行を予定しています。

2. 技術発表会の開催

本年度は、協会初の試みとして以下のとおり技術発表会を開催します。今後、定例化して協会の情報発信の機会としていきたいと考えております。

日時：8 月 28 日（水）

場所：一橋会館

3. 展示会への出展

本年は、次の展示会に出展し当協会の活動を紹介し、認知度の向上に努めます。

① JCI コンクリートテクノプラザ 2019

日時：2019 年 7 月 10 日（水）、11 日（木）、12 日（金）

場所：札幌コンベンションホール

② インフラ検査・維持管理展

日時：2019 年 7 月 24 日（水）、25 日（木）、26 日（金）

場所：東京ビッグサイト西展示場

③ 更新講習会

4. ホームページの改定

当協会の事業を協会内外に発信し、認知度を向上していくことが求められています。ホームページはその有効な手段の一つですが、現在のホームページは、その機能を十分に発揮しているとは言えません。そこで、時代の趨勢も考慮し、より使い易いホームページにリニューアルします。

V. 他団体との連携

本年度も以下の団体（50音順）の他、関係諸団体との連携および情報交換等を通じて、本協会の事業を推進するとともに、認知度の向上に努めます。

- ① 既存建築物耐震診断・改修等全国ネットワーク委員会
- ② 公益社団法人 空気調和・衛生工学会
- ③ 一般財団法人 建築保全センター
- ④ 一般社団法人 公共建築協会
- ⑤ 公益社団法人 都市住宅学会
- ⑥ 公益社団法人 土木学会
- ⑦ 一般社団法人 日本建築学会
- ⑧ 一般財団法人 日本建築センター
- ⑨ 公益社団法人 日本コンクリート工学会
- ⑩ 一般社団法人 日本社会基盤安全技術振興協会
- ⑪ 一般社団法人 日本非破壊検査工業会
- ⑫ 公益社団法人 腐食防食学会

VI. 業務運営の改善等

1. コンプライアンス委員会の設置

当協会の関係者（理事、会員企業、部会及び委員会の構成員等）の不祥事は、あと施工アンカー業界全体への不信につながります。当協会の目的達成のためには、コンプライアンスの推進に関して協会としての取り組みが必要と考えます。そこで、協会関係者間でコンプライアンスの理念を共有し第三者からの意見を取り入れ、コンプライアンス違反を未然に防止する仕組みとしてコンプライアンス委員会を設置します。

2. 事務局西日本分室の開設

年々増加する受験者、受講者の対応や協会の認知度向上のための広報活動の充実を図る為、事務局の西日本分室を開設します。（2019年4月1日付で開設済）

3. 会計システムの変更

会計業務の改善と予算進捗の把握を容易にする為、今年度末で費消計画が完了する見込みであることを踏まえ、2020年度から会計システムを変更する準備を進めます。また、新たに旅費精算システムを導入します。当面は事務局職員を対象に運用します。